

令和2年 能代山本広域消防 火災・救急件数

令和2年の火災件数は17件で、前年と比較すると11件の減少となっています。
救急件数は3,067件で、前年と比較すると360件の減少となっています。

① 火災件数 ()は昨年件数

能代市	11件(13件)
藤里町	1件(0件)
三種町	3件(10件)
八峰町	2件(5件)
合計	17件(28件)

② 火災による死傷者

死者	1名
傷者	2名

③ 火災種別

建物	10件
林野	3件
車両	1件
その他	3件

④ 火災原因 (図1参照)

火入れ	3件
たき火	1件
火花	1件
マッチ	1件
たばこ	1件
ボイラー	1件
その他(高温の個体)	1件
バーナー	1件
排気管	1件
不明	4件
調査中	2件

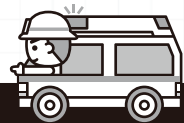
⑤ 救急出場件数

能代市	2,059件
藤里町	168件
三種町	590件
八峰町	250件
合計	3,067件



⑥ 救急種別

1 急病	2,114件	68.9%
2 一般負傷	406件	13.2%
3 転院搬送	209件	6.8%



救急車の適正利用のお願い!

近年、全国で救急車の出場件数が増加しています。能代山本では令和2年中に**3,067件(1日平均8.4件)**の出場があり、前年より**360件減少**したものの、ここ数年間3,000件を下回ることがありません。医療機関へ搬送された人数を見ますと**2,852人**で、そのうち**約40%**が入院を必要としない軽症と診断されております。

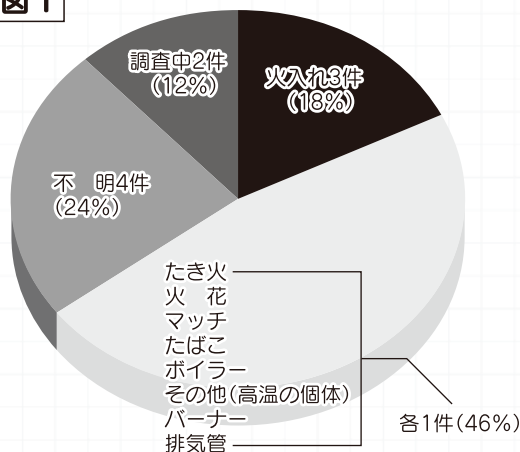
119番通報で救急車を要請すると、最も現場に近い救急車が出場し、最寄りの救急車が出場中の場合は、その次に近い救急車が出場します。緊急性のない救急要請が多くなると、救急車到着するまで時間は長くなり、1分1秒を争う救急活動の障害になります。令和2年の能代山本管内では、通報から現場到着まで**約8.0分**を要しています。限られた救急車を適正に運用するためには皆様のご協力が必要です。

※AED(電気ショック)が1分遅れる毎に**社会復帰率は7~10%低下**すると言われています。

救急車は大切な命を守るため24時間対応します。
本当に必要な人が救急車を利用できるように、
住民の皆様のご理解、ご協力をお願いします。

● 問い合わせ 消防本部救急課 ☎52-3368

図1



ごみを分別しましょう!!

一般家庭や事業所で発生するごみが分別されず、不燃ごみ、資源ごみが南部清掃工場へ搬入されることで次のような問題が加速していきます。

焼却

不要な焼却処理により温室効果ガスである二酸化炭素が大量に発生し地球温暖化が進みます。



埋め立て

焼却後に発生する焼却灰と固化灰は処分場へ搬入されます。ごみの分別がされないまま埋め立てるとごみが増加していくと、自然環境の破壊につながります。



処理

ごみ処理の過程では、収集運搬、中間処理(焼却)、最終処分(埋め立て)が行われます。処理量が多いと、処分するために多くの費用がかかります。



【南部清掃工場搬入時の注意事項等】

- 各構成市町が可燃ごみとして収集する指定家庭ごみ袋の中に金属類やセトモノ類などの不燃ごみは絶対にいれないでください。
- 紙類、缶、ビン、ペットボトルなど資源ごみとなるものは資源化してください。
- ごみの発生を少しでも防ぐため、3R(リデュース:減らす、リユース:繰り返し使う、リサイクル:再資源化する)に努めてください。

問い合わせ先

能代山本広域市町村圏組合
環境衛生課 ☎89-2426
南部清掃工場 ☎85-3225